

2010年度版 Noteworthy Information is this!

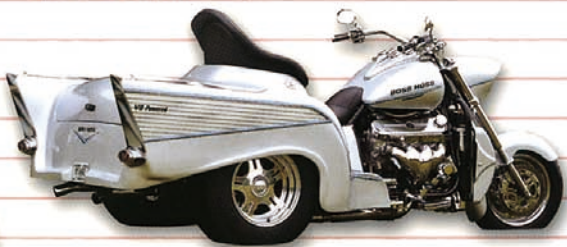
注目情報は これだ!

全
390
件



なぜこの商品が売れるのか!

なぜ、その発想が生まれたのか?
各企業の深く鋭い洞察力、卓越したアイデア、
戦略にあふれるアイテム・ビジネスを
厳選した話題の一冊



掲載情報はここからアクセス

<http://www.mrpartner.co.jp/cyukore2010/>

トレンド

企業の旗

グルメ

ビジネス

商品開発物語

住む

レジャー

ライフ

ヘルス

ビューティ

スピリチュアル

ガーデニングに高級感・重量感をもたらす 趣ある創作瓦でグリーンを飾ろう

最近、瓦でできた屋根をみるのがめつきり少なくなりました。しかし、土からできていたことからエコな素材でもある瓦は、イヤな空気が臭いを吸い取ったり湿度を調整するなど備長炭のようなやさしい作用を発揮する。屋根以外のインテリア素材として再び注目を集めているのだ。いぶし瓦生産日本一でもある淡路の「瓦」を世界に発信しようとしていたのが、「載置台」を製造する「まるか産業」代

【載置台シリーズ】



クロスD 6,000円



ブリッジC 4,500円

表の垣（かき）氏である。

「もともとは窯業メーカーに勤務しており、その後独立しました。淡路島

は長い瓦製造の歴史を持つにも関わらず、阪神・淡路大震災の影響で「瓦は重いから倒壊被害の一因になる」というイメージが広まり、需要が低迷してしまっただけです。伝統的な瓦産業は島内の地域雇用という側面からもなくしてはならないものだけに深刻な問題です。そこで「淡路瓦」の更なる普及促進に尽力し、地場産業の復興に貢献したいと新商品を開発しました（垣氏）。この新商品が載置台「愛

瓦ず（かわらず）だ。淡路瓦でつくられた何種類ものパーツを組み合わせると、苔玉やミニ盆栽、観葉植物などのグリーンを飾ることができるインテリアグッズである。焼き色をまだらにしてあり、瓦独特の趣が一層「和」の雰囲気を出している。癒しと安らぎを感じる逸品だ。「サイズや色など組み合わせのバリエーションはどんどん増やしていきたいです。苔玉や盆栽が世界で好評を得ているように、瓦でつくった「載置台」も海外で受け入れられるのでは、と考えています。瓦を見なくなった都会の方にも、インテリア用品としておすすめしたいですね」と垣氏は話す。世界に誇れる日本文化のひとつとして、将来有望な商品だ。

（ライター 早坂じ恵）

取材協力

有限会社まるか産業

☎0799-36-5569（受付時間/9:00~17:00）

FAX/0799-36-5615

所在地/兵庫県南あわじ市湊里1098

定休日/土 日 曜日 祝日

E-mail/info@marukanet.jp

<http://www.marukanet.jp/>